

## おもてなしの花壇づくり

【講習開催日】令和 5 年 11 月 28 日

【場所】弘法池公園（戸塚区）

### 【現在の花壇の問題点】

- ・有効土壌厚が 20 cm程度で地被類程度なら植栽可能。
- ・水辺が近いので蚊の発生が多いように感じる。
- ・一般的な花壇苗が植えられているが花壇の規模に対しボリュームが少々足りないように見受けられる。
- ・日差しが強いため表土の乾燥が見受けられる。

### 【問題点の解決方法】

- ・今後、花壇管理が持続可能な環境作りを目指して土壌改良を施す。さらには各植物に対応した土づくりをする。花壇中央を盛り上げ有効土壌を確保しつつ、表面排水を利用する。
- ・宿根草を適宜配置し少量の 1 年草でボリューム感が得られるようにする。
- ・蚊の忌避効果があるとされるハーブ系の植物を配置し効果を期待する。
- ・表土の乾燥を抑えるためマルチング処理をする。

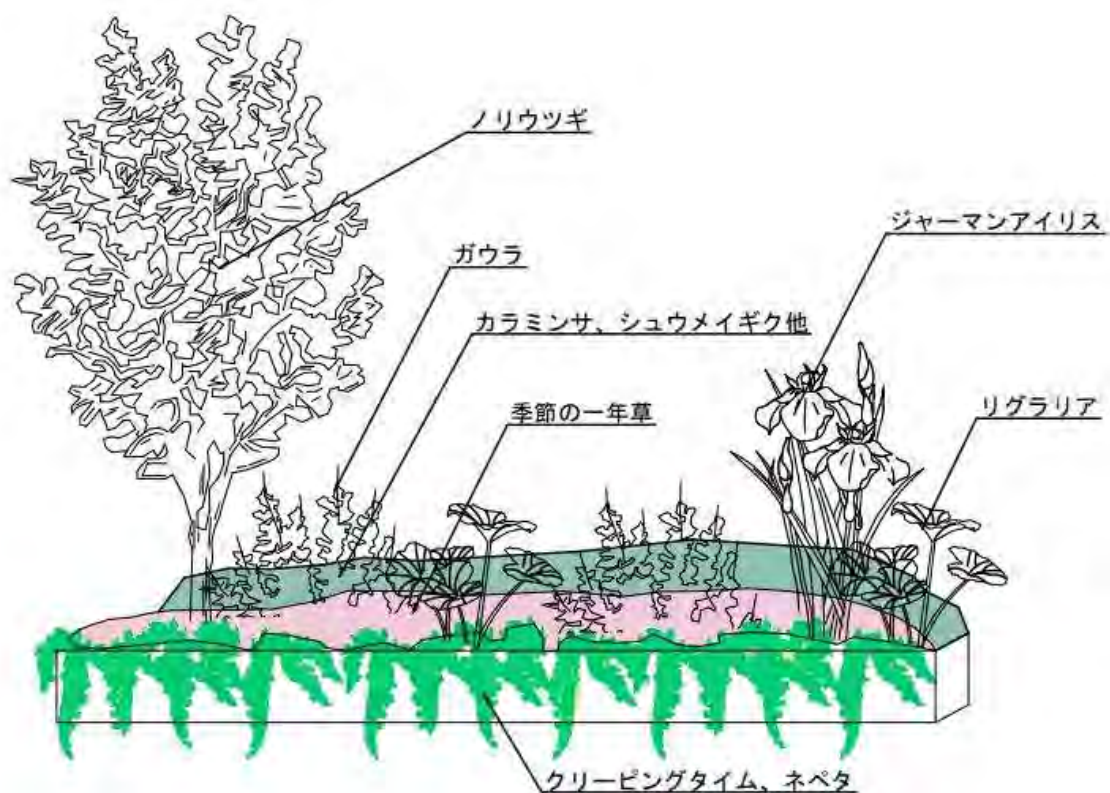
### 【植物を選ぶポイント】

- ・親水公園という特性を生かし、周辺に自生している植物を採用し、さらに水辺をイメージさせる品種を取り入れる。
- ・こんもりとボリューム感のある植物で高低差を演出する。
- ・土壌を盛り上げるため、土留めの役割もかねてクリーピングタイプの常緑宿根草類を周囲に配置する。
- ・季節感を出すため、花壇手前に 1 年草を数種類植える。（春・秋・冬 3 回植替え）
- ・シンボルとなる植物を 1 か所配置し、季節感を楽しめるようにする。

### 【植物の植え方】

- ・公園の玄関口に位置している花壇であるため、利用者の動線を意識して配置する。シンボルツリーであるノリウツギを起点に、園路進行方向へ流れるような配置を意識する。
- ・ポットを外した際に根が回りすぎている場合は、根の 1/3 下方部分をほぐしてから植え付ける。
- ・植物の成長後イメージしながら植え付ける間隔を決める。
- ・フォーカルポイントを見極め、花が正面を向くよう植え付ける。また高低差がある場合は花同士が被らないよう配置する。

### 【成長後のイメージ】



#### 宿根・常緑・クリーピング

グランドカバーと分類されますが、表土を覆ってくれるのに役立つ植物たちです。主にほふく性のものや、葉を大きく広げて覆ってくれるもの、壁から垂れ下がるものがあります。

今回は、ほふく性のものを数種ランダムに植込み、葉色の違いや花を楽しみたいと思います。

#### 宿根・常緑・立性

花や葉の色合わせや異なる形を組み合わせ、高低差をアクセントに加えるなど、色や形、草姿を考慮して植え付けます。自然にできた草原のような雰囲気イメージします。1年を通じ、花のない季節も葉色のコントラストを楽しめるものを数種、配置します。

#### 1年草・冬咲

こちらも花や葉の色合わせや異なる形を組み合わせ、高低差をアクセントに加えるなど、色や形、草姿を考慮してランダムに植え付けます。

およそゴールデンウイーク前まで楽しみ、初夏から秋に咲く1年草類に植え替えていきます。



## 1、講座前

花壇の大きさに対し植物の割合が  
少ない印象です。

一つテーマを決めて、宿根草でボリ  
ュームを出しつつ1年草で彩を加えて  
行きたいと思います。



## 2、事前調査

テーマを決めるにあたり、まずは公  
園内を散策しました。

この公園は弘法大師ゆかりの見事な  
親水公園になっています。

水辺にはミソハギをはじめ、様々な  
植物が自生しています。



## 2、事前調査

このような特色を公園の玄関口にあ  
る花壇で演出できないか考えました。



## 2. 事前調査

池の奥にある祠には、弘法大師像が鎮座しています。



## 3. 講習前の花壇

講習前に夏の一年草を撤去し、耕耘を行いました。

面積3.6㎡、深さ20cm 約720Lの土量に対し3割(約216L)改良材を加えていきます。



## 4. 花壇の現状確認

土壌は中性で非常に良い状態です。現状を維持しながら、長く花壇を楽しめるように土壌改良をしていきたいと思ひます。



### 5. 土壤改良材の説明

花壇の土壌は長年使い続けると酸性に傾いていきます。

主な要因は雨等によるアルカリ分の流出です。酸性状況下になると植物は上手く肥料分を吸収できなかったり、病気になりやすくなるので注意しましょう。



### 6. 土壤改良材の投入

まずは比重の重い石灰、化成肥料を混ぜ込みます。

なるべく偏りが出ないように、均一に撒布します。



### 6. 土壤改良材の投入

それぞれ多すぎても少なすぎても良くありません。

目安として一握りの重さなども把握しておくといいです。



## 6. 土壌改良材の投入

肥料も偏りが出ないように、均一に  
撒布していきます。



## 7. 皆さんで攪拌作業

底の土をひっくり返すイメージで  
根気よく攪拌してゆきます。

今回は計で6回攪拌しました。

特に縁側は攪拌しにくいので念入り  
に混ぜていきます。



## 8. 雑草の根除去

攪拌最中にドクダミ、ヤブガラシな  
どの雑草の根が見つかることがあり  
ます。

1cmほど残っていても発芽しますの  
で注意深く除去しましょう。



### 9. 土壌改良材の投入その2

次に比重の軽いバーミキュライト、パーライト、燐炭を投入していきます。



### 10. 皆さんで攪拌作業その2

みなさん鋤ぐわの扱いに慣れてこられて、スムーズに作業できるようになりました。



### 11. 地型作り

植木屋さんが使うコウガイ板で地形を整えていきます。

花壇中央をやや高く勾配を付けると水はけが良く、花壇も立体的になります。





#### 12. 土壌改良が完了

見事な花壇土壌ができました。.....  
バーミキュライト、パーライトの  
鉢物を主に使っているので経年劣化  
が少なく、長期間に渡り保水・保肥  
性が保たれます。.....  
1年草の植替えの際は堆肥と肥料  
のすき込だけで植付可能です。.....



#### 13. 植物の説明

今回は水辺をイメージできるような  
植物を採用しつつ、毎年楽しめる宿  
根草類と季節感を出すために1年草を  
植えていきます。.....  
.....  
.....  
.....



#### 14. 植付イメージの説明

植え付ける前に大まかなイメージを  
みなさんで共有させて頂きました。.....  
公園内の動線と視線の流れを確認し  
それぞれの植物が成長した姿を想像  
して配置していきます。.....  
.....  
.....



#### 15、シンボルツリー植付

まず一番目を引くノリウツギの植付です。

樹高が2m前後になる姿を想定し、公園の外からでも目立ち、かつ花壇の邪魔にならないところに定植します。



#### 16、ジャーマンアイリス植付

水辺をイメージさせるためにジャーマンアイリスを植え付けます。

ウツギと干渉しないように比較的離れた場所を選びました。開花すると1m前後になります。

繁殖力が旺盛なので40cm位の間隔で植付ます。



#### 17、リグラリア植付

これも水辺をイメージした植物です。株を寄せて植えると単体として力強く成長します。

このように植えることで、株元の乾燥を防ぐ効果もあり、水分が多く必要な物には有効です。



### 18. 宿根草の配置

残りの宿根草類を皆さんで配置して  
いきました。

まだ苗の状態であつ冬枯れしてい  
るので、今後成長した姿をイメージ  
するのは難しいと思います。



### 19. 宿根草の植付

植付が完了しました。

宿根草類の良いところは休眠期に植  
替えが出来るところです。

ひと夏終わって冬にリニューアルす  
る事も一つの楽しみ方だと思います。



### 20. 植付のコツ

お花の向きや成長後に隠れてしまわ  
ないように注意して植え付けましょう。



### 21. 1年草の植付

この部分は季節ごとに植え替えて花を楽しめるようにします。

色や種類に囚われず思いのままに植えましょう。



### 22. 灌水方法

植付後の灌水はとても重要です。

ホースで直接、根元に流し込み根鉢の間隙に土を流し込みます。

活着が進み、根が十分に広がり灌水が効果的になります。



### 23. マルチング

仕上げにマルチングです。

残った堆肥を敷き込み、表土の乾燥と雑草の発生を抑えます。

約3cmの厚みでマルチングします。



完成しました

宿根草が成長して花が一杯になるの

がとても楽しみです。

ありがとうございました。



### はまっ子ユーク

横浜市内の公園緑地や街路樹などの剪定枝や刈草を原料で出来た堆肥です。

土の微生物が活発になり、土がふかふかになります。

また今回はマルチングにも使用しました。



### バーミキュライト

主に砂質土の改良に使います。

苦土蛭石を焼いた物で隙間や穴がたくさん空いています。

土の中に酸素が行き渡るため、根っこにも酸素を届けられます。



### パールライト

主に粘土質の改良に使います。

真珠岩を焼いた物で軽く多孔質でやわらかな質感の改良材です。

水もちに優れており、乾燥しやすい土壤に有効です。



### ピートモス

腐植化した泥炭（でいたん）を脱水、粉碎、選別したものです。

腐葉土によく似た性質を持ち、保肥性が高く有機物の分解を促進します。

しかし酸性なので石灰を加えて中性にしたり、アルカリ性のpH値を下げるために使用します。



### 燻炭

pHが8-10のアルカリ性で水はけや通気性、保肥性がよくなります。

連作障害を防止してアブラムシ、ネキリムシの忌避効果もある万能改良材です。



### 有機石灰

牡蠣やホタテの貝殻、卵の殻などを原料にしたアルカリ性の改良材です。

土が酸性に傾いている時だけ少しずつ溶け、中性の場合にはほとんど溶けません。

混ぜ込んですぐ定植できるのが利点です。

## 化成肥料

今回は基肥でマグアンプKを使用しました。

リンサンが強く、花付きや実成が良くなります。また根から出る酸に反応するので効果が長続きするのが特徴です。



今回使用量

はまっ子ユーキ18L 4袋

バーミキュライト30L 1袋

パーライト10L 3袋

燻炭12L 1袋

有機石灰10k.g 1袋

化成肥料1.3k.g 1袋





## ノリウツギ

落葉中木

開花期は夏～秋になります。

お花の少ない夏の時期を賑わせてくれるアジサイの仲間です。

円錐状の花形が特徴的。

新枝咲きなので2月までに剪定をすれば開花します。



## ジャーマンアイリス

耐寒性球根

5月から6月にかけて開花します。

日当たりと水はけのよいことが特に重要です。

乾きやすいところに浅く植えるのがポイントです。



## ガウラ

常緑性多年草

草丈は50-80cm位で蝶が飛んでいるように咲く可愛い花です。

花期も5月-11月と長く、非常に丈夫です。根が張ればかなりの乾燥にも

耐え、大きく茂りやすいので、かえって乾燥しやすいやせ地のほうが

バランスよく育ちます。



## リグラリア

宿根草

日向から半日陰の場所で育てます。

肥沃で保水性のある土が好みで木陰のグランドカバーに最適です。

6月から9月にかけて開花します。



## ミソハギ

多年草

水もちのよい泥質の土で育てますが草花の培養土でも問題なく育ちます。

茎の長さは1mを超す大型ですが葉張りは狭く、花壇にボリューム感を与えてくれます。

7月から9月にかけて開花します。



## カラミンサ

宿根草

草丈は50cm程度で、爽やかなミントの香りがあります。花期も5月-11月と長く、冬になると地上部を枯らします。

日なた、半日陰のいずれでもよく育ちますが、花つきが多く、締まった株に育てるには日なたで育てます。



## シュウメイギク

半常緑性多年草

耐寒性が強く耐暑性もあり、株もよくふえます。根は高温や乾燥に弱いのでマルチングが効果的です。

日陰でも良く育ち、年々大株になりたくさんの花が開花します。



## ヘリオプシス

多年草

日当たりから明るい半日陰まで幅広く育成可能です。水はけをよくしておき、根をしっかりと張らせることが大切です。

開花期間も6月から10月ごろまで長く地中の株元に多数の芽ができてふえます。



## ローズゼラニウム

常緑多年草

花はバラのような香りがします。

鳥や虫が嫌いな成分を分泌しているため害虫がほとんど近寄りません。

乾燥気味が好きなので、水はけの良い土で栽培します。



### フェスツカ・グラウカ

常緑多年草

乾燥に強く、庭植えではほとんど水やりの必要はありません。

常緑性で、気温の下がる秋以降に本領を発揮し、冬花壇のアクセントに最適です。春の新芽は特に美しいです。



### ネペタ

多年草

キャットミントとも呼ばれ遠目にラベンダーに間違えられるくらい綺麗な花を咲かせます。

開花期間も4月から10月頃まで長く、丈夫で栽培しやすい品種です。

梅雨期など雨が続くときに蒸れないように注意します。



### クリーピングタイム

常緑多年草

繁殖力旺盛で横にどんどん広がっていくため、グランドカバーとしてよく利用されています。

酸性土壌が苦手なので苦土石灰などで土を中和し、砂などを混ぜて土の水はけをよくします。



### ストック

香り高い花をつける半耐寒性の一年草です。中性から弱アルカリ性を好み、植え付ける前に石灰を施すと良く育ちます。

水の与えすぎによる過湿などで、立ち枯れ病が発生します。少し乾燥気味に育てましょう。



### ビオラ

日光を好むため、風通しと日当たりの良い場所で育てましょう。

水やりは午前中に。晩に霜が降りるような気温になると、根が霜でやられてしまう可能性があるので注意しましょう。



### ガーデンシクラメン

寒さに弱いシクラメンの中から特に耐寒性の強い系統を選び、改良されたものがガーデンシクラメンです。

深植えは厳禁です。球根の2分の1を地面に植えるようにしてください。